

平成26年度 第4回
九州地方整備局 事業評価監視委員会

国道201号

かわら 香春拡幅

- ① 事業採択後3年経過して未着工の事業
- ② 事業採択後5年経過して継続中の事業
- ③ 着工準備費又は実施計画調査費の予算化後3年経過した事業
- ④ 再評価実施後3年経過した事業
- ⑤ 社会経済情勢の急激な変化、技術革新等により再評価の実施の必要が生じた事業



1. 目的・事業概要・これまでの経緯

◆目的 ・香春拡幅は、国道201号の**交通混雑の緩和**、物流の効率化による**地域産業の支援**等を目的とした事業。

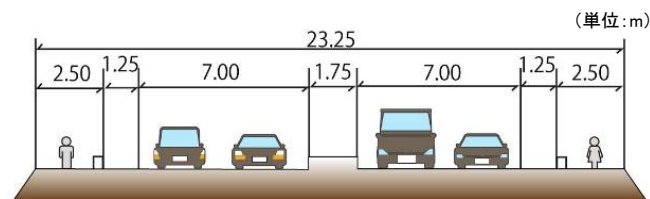
◆事業概要 ・本事業は、完成4車線の現道拡幅事業である。

計画延長等	L= 2.1km（第3種第1級、設計速度80km/h）
幅員	W= 23.25m（4車線）
計画交通量（H42）	①26,900台/日，②22,800台/日

▼ 事業経緯

平成20年度	事業化
平成21年度	路線測量
平成22年度	地質調査
平成23年度	用地幅杭設置
平成24年度	用地買収着手

※事業進捗率：約14%、用地進捗率：約42%



▲ 標準断面図



▲ 路線概要図

2. 事業の効果・必要性(交通混雑の緩和)

- 国道201号岩原口交差点では、ピーク時に渋滞が発生しており、今後周辺の国道322号香春大任バイパスの整備により、更なる交通集中が懸念される。
- 香春拡幅の整備により、国道201号の交通混雑が緩和され、旅行速度の向上、定時性の確保が図れるなど円滑な交通が期待される。

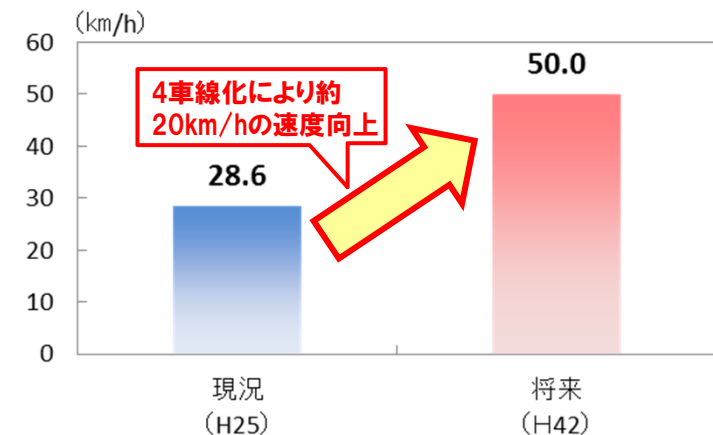


▲ 国道201号（香春拡幅周辺）の交通状況

※渋滞長：H25.10（北九州国道事務所調査結果）



▲ 岩原口交差点周辺の交通状況

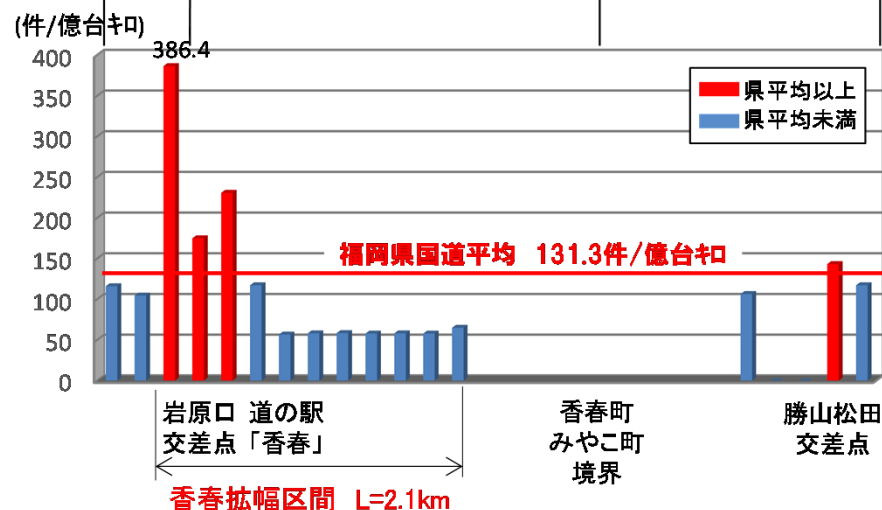


▲ 香春拡幅供用後の旅行速度の変化

※国道201号岩原口交差点～香春町大字鏡山字荒堀
 ※現況はプロポーゼータ(H25.4～H26.2)
 ※H42は交通量推計結果

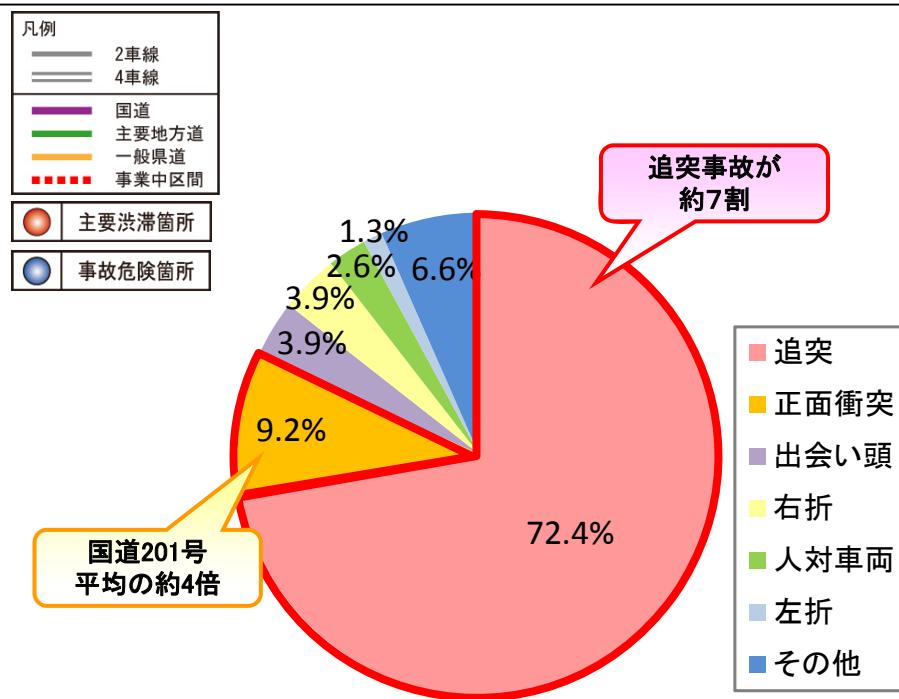
2. 事業の効果・必要性(交通安全性の向上)

- 国道201号岩原口交差点付近は、混雑に起因すると考えられる追突事故が多く発生。また、正面衝突事故の発生割合も高い。
- 4車線整備に伴う交通混雑緩和・中央帯設置により、追突事故や正面衝突事故の危険性が低下し、交通安全性の向上が期待される。



資料：交通事故総合データベース (H21～H24)

▲ 国道201号（香春拡幅周辺）の事故発生状況



資料：交通事故総合データベース (H21～H24)

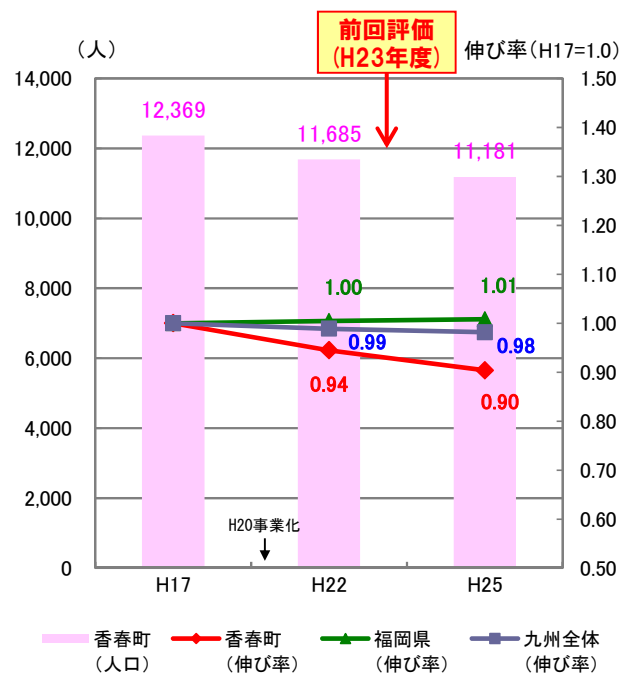
▲ 香春拡幅区間の事故類型

※国道201号岩原口交差点～香春町大字鏡山字荒堀

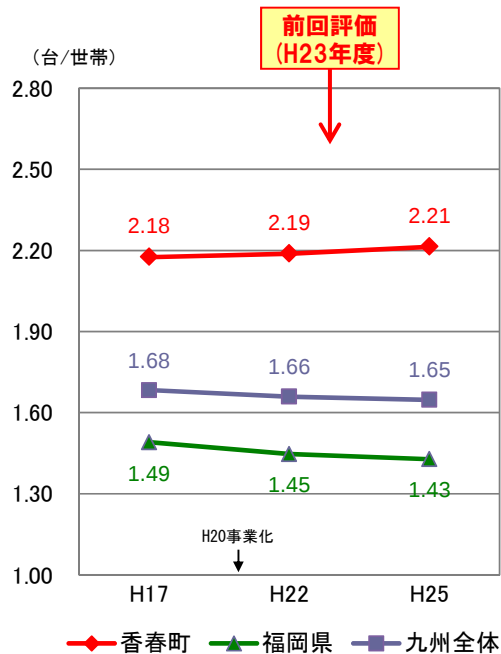
2. 事業の効果・必要性(社会情勢等の変化)

- 沿線地域の人口は前回評価以降減少傾向であるものの、一世帯あたりの自動車保有台数は福岡県や九州全体を上回っており、自動車交通への依存は高い状況にある。
- 交通量は増加傾向にあり、**依然として事業の必要性は高い。**

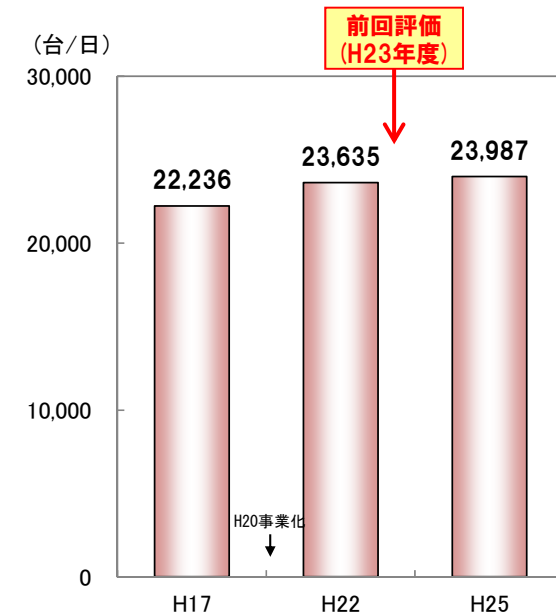
■人口の推移



■自動車保有台数の推移
（一世帯あたり）



■交通量の推移



3. 事業の進捗状況

○本年度も引き続き、用地買収を推進していく予定。

事業区間の状況



▲写真① 岩原口交差点



▲写真② 道の駅「香春」付近



年度	香春拡幅(L=2.1km)
H20	事業化
H21	路線測量
H22	地質調査
H23	用地幅杭設置
H24	前回評価(H23)
H25	用地買収着手
H26	

4. 今回変更のポイント(事業費の変更)

◆事業費の変更(約31億円 ⇒ 約51億円)

①側道設置による増	約+10億円
②橋梁計画の見直しによる増	約+ 9億円
③用地調査の結果に伴う増	約+ 2億円
④コスト縮減	約- 1億円

合計	約+20億円
----	--------

◆B/Cは、全事業で1.3、残事業で1.6。

4. 今回変更のポイント(事業費の変更)

①側道設置による増【約+10億円】

◆前回評価時:側道計画無し

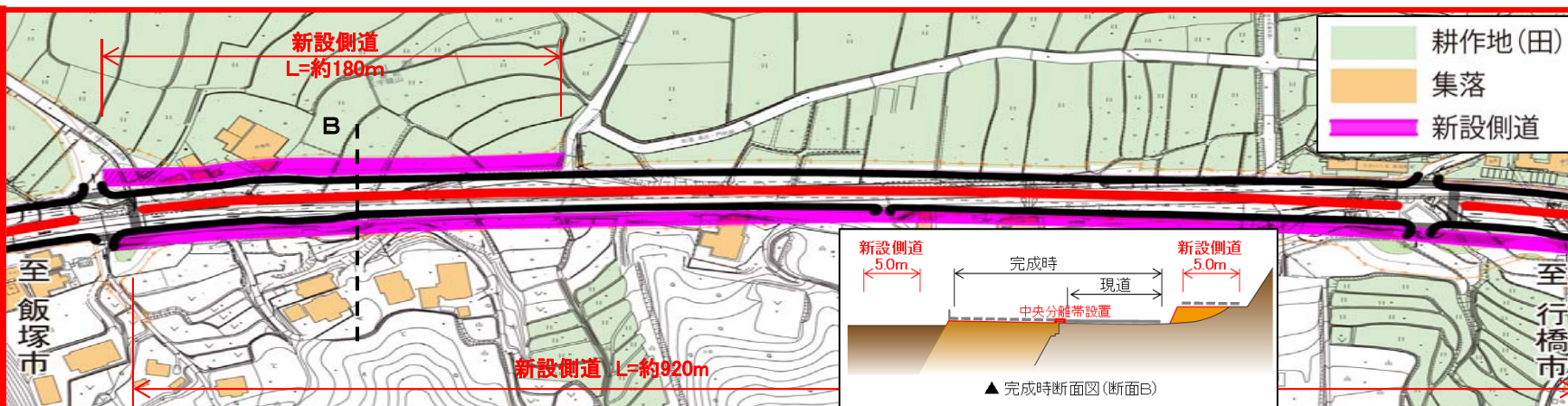
◆今回評価時:地元協議により交通処理計画を見直した結果、側道を設置

- ・地元協議において、集落間及び集落と耕作地の往来が必要な地域住民の交通実態が判明し、既存の計画では中央分離帯があるため、**交差点部まで農耕車等が低速で移動する事で一般車両との交通事故を懸念する意見が多く出された。**
- ・このため、**主な取付道路間を結ぶ側道を設置**する事で、地域交通と地域外交通を分離する計画に見直した。

前回評価時



今回評価時



4. 今回変更のポイント(事業費の変更)

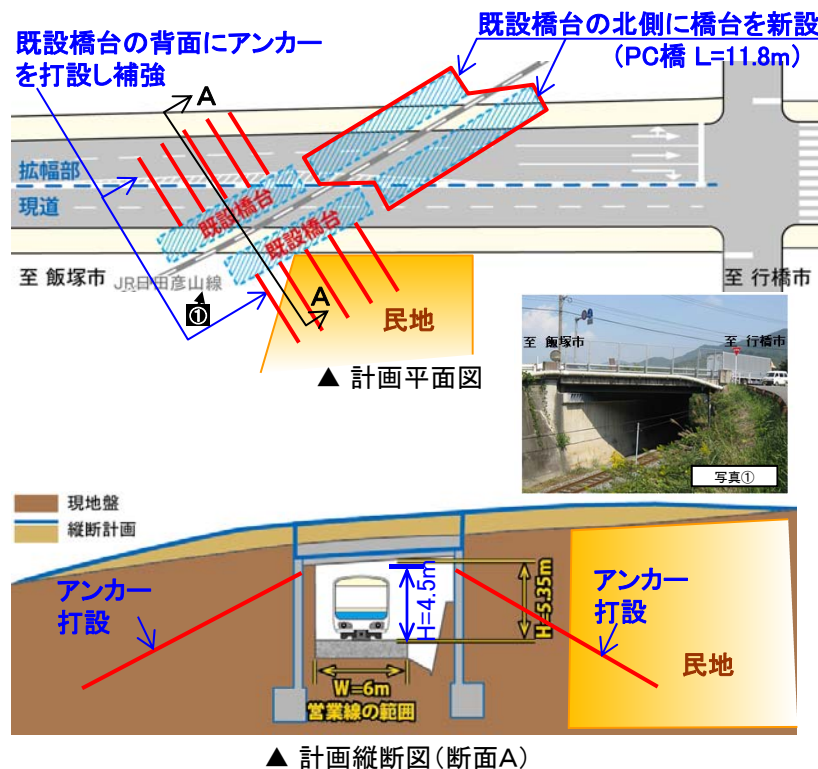
②橋梁計画の見直しによる増【約+9億円】

◆前回評価時: 拡幅部橋梁の併設及び既設橋の補強

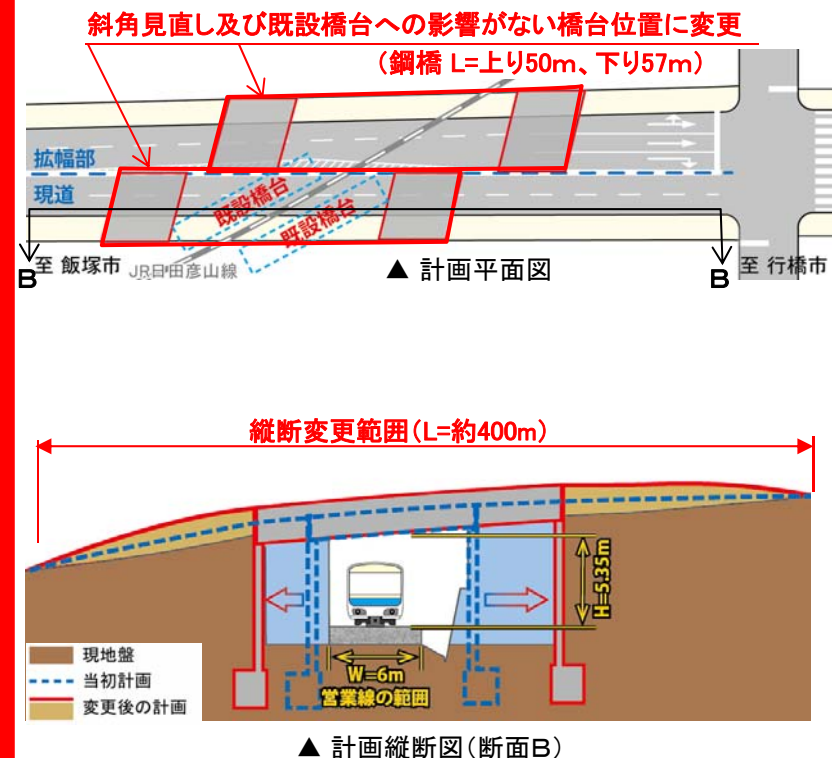
◆今回評価時: 基準の見直し等により、橋梁計画を変更

- ・JRの基準変更に伴う建築限界を確保しつつ拡幅側に新設橋を設置し、橋台高変更に伴い背面土圧が増加するため、既設橋台をアンカーにより補強するように計画。
- ・民地へのアンカー設置について地権者の理解が得られず、また、H24年の道路橋示方書改訂により維持管理の確実性を設計段階から配慮する必要が生じたため、既設橋の架け替えを踏まえた橋梁計画に変更。

前回評価時



今回評価時



4. 今回変更のポイント(事業費の変更)

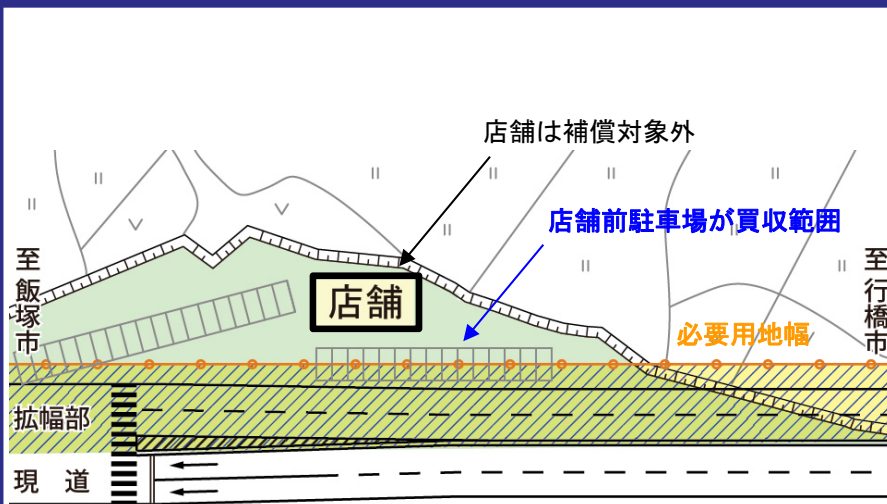
③用地調査の結果に伴う増【約＋2億円】

◆前回評価時：必要用地幅に対する補償

◆今回評価時：店舗等の利用実態に応じた補償

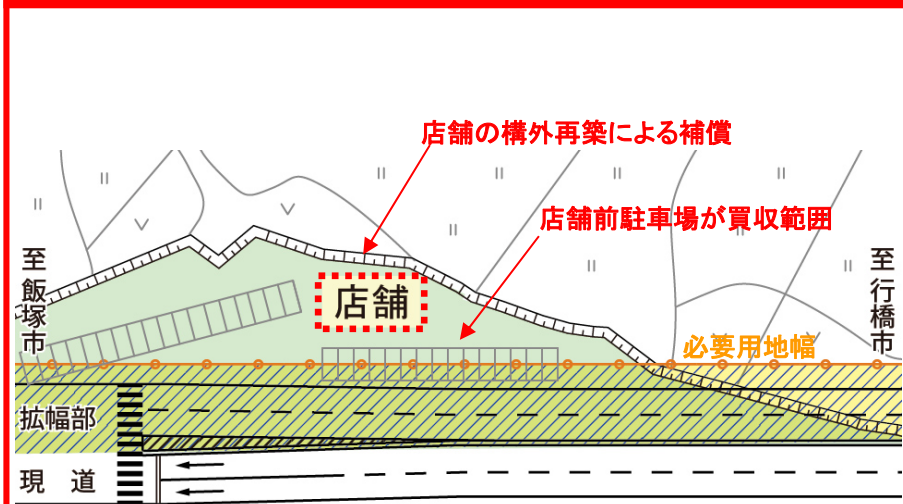
- ・前回評価時では、店舗が支障ではなかったため拡幅に必要な範囲の土地代金の補償を行う計画。
- ・用地調査にあたり、営業及び駐車場等の敷地利用状況の実態調査をしたところ、残地内において、駐車場の従前の機能が確保できないと判断されたため、**店舗の移転補償が必要と認められた**。（土地買収・**店舗の構外再築補償**）

前回評価時



▲ 計画平面図

今回評価時



▲ 計画平面図

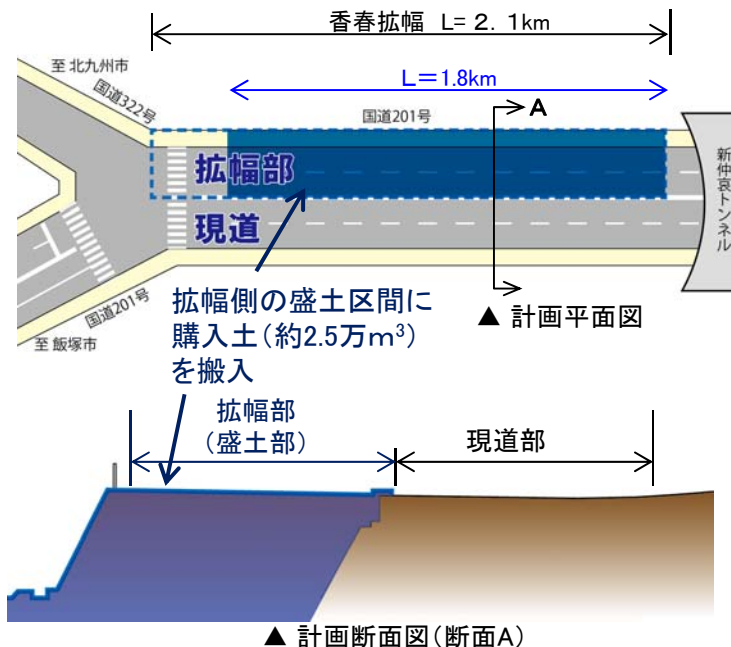
4. 今回変更のポイント(事業費の変更)

④コスト縮減【約－1億円】

- ◆前回評価時: 盛土を購入土にて計画
- ◆今回評価時: 他事業からの発生土を受け入れる計画

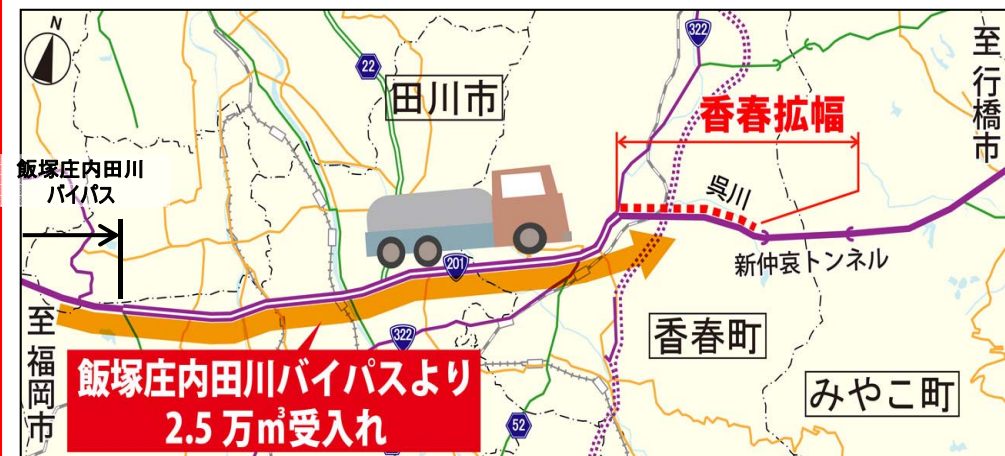
前回評価時

【前回評価時】
盛土区間において、購入土にて計画



今回評価時

【今回評価時】
盛土区間において、他事業からの発生土を受け入れることで
購入土のコストを縮減



5. 前回評価からの変化(事業費)

◆事業費の変動と主な要因

項 目	前回評価(H23年度)			今回評価(H26年度)				
	事業費	維持管理費	合 計	事業費	維持管理費	合 計		
残事業	約30億円 (約22億円)		約23億円 (約6億円)	約53億円 (約28億円)	約43億円 (約35億円)		約18億円 (約6億円)	約62億円 (約40億円)
	改良費	約 7億円			改良費	約11億円		
	橋梁・トンネル・IC費	約 9億円			橋梁・トンネル・IC費	約18億円		
	その他工事費	約 8億円			その他工事費	約 8億円		
	用地補償費	約 6億円			用地補償費	約 6億円		
全事業	約31億円 (約23億円)		約23億円 (約6億円)	約54億円 (約29億円)	約51億円 (約43億円)		約18億円 (約6億円)	約70億円 (約48億円)
	改良費	約 7億円			改良費	約11億円		
	橋梁・トンネル・IC費	約 9億円			橋梁・トンネル・IC費	約18億円		
	その他工事費	約 9億円			その他工事費	約12億円		
	用地補償費	約 6億円			用地補償費	約10億円		
主な変動要因 (現在価値)				①事業費の変更による増				

※上段：単純合計（税込み）、下段：現在価値化後

5. 前回評価からの変化(便益)

◆便益の変動と主な要因

項 目	前回評価 (H23年度)			今回評価 (H26年度)			主な変動要因 (現在価値)
残事業	約46億円	走行時間短縮便益	約34億円	約65億円	走行時間短縮便益	約50億円	①将来交通需要 推計手法の見直しによる増 ②基準年の変更 (H23⇒H26) による増
		走行経費減少便益	約12億円		走行経費減少便益	約15億円	
		交通事故減少便益	約0.4億円		交通事故減少便益	約0.9億円	
全事業	約46億円	走行時間短縮便益	約34億円	約65億円	走行時間短縮便益	約50億円	
		走行経費減少便益	約12億円		走行経費減少便益	約15億円	
		交通事故減少便益	約0.4億円		交通事故減少便益	約0.9億円	

※現在価値化後の便益

※今回評価での便益の算定については、これまでの人口・GDP等の将来フレームと全国生成交通量推計手法を統一する改善に加え、さらに交通機関共通の統合推計モデルを基に算出

5. 前回評価からの変化(B/C)

◆B／Cの変化

項 目	前回評価 (H23年度)	今回評価 (H26年度)
残事業	$1.7 = \left[\frac{46\text{億円}}{28\text{億円}} \right]$	$1.6 = \left[\frac{65\text{億円}}{40\text{億円}} \right]$
全事業	$1.6 = \left[\frac{46\text{億円}}{29\text{億円}} \right]$	$1.3 = \left[\frac{65\text{億円}}{48\text{億円}} \right]$

※ [] 書き上段：現在価値化後の便益、下段：現在価値化後のコスト（維持管理費を含む）

6. 事業の投資効果

◆その他(B/Cで計測できない効果)

道路事業の整備効果			
分野	内容		定量化
暮らし	医療施設までのアクセス改善	搬送時間の短縮による救命率の向上	多量出血に関する救命率が約3%向上 [H42] (みやこ町役場⇒飯塚病院)
環境	生活環境の改善	自動車の走行性向上による環境への影響低減	CO ₂ 削減: 939t-CO ₂ /年 [H42] NO ₂ 削減: 4.3t-NO _x /年 [H42] SPM 削減: 0.25t-SPM/年 [H42]

7. 対応方針(原案)

- 香春拡幅は、国道201号の交通混雑の緩和や交通安全性の向上、並びに産業の支援等に貢献する道路である。
- 費用対効果についても十分高い事業である。
- 事業進捗率は、事業費ベースで約14% [約7億円/約51億円] (平成25年度末)、そのうち用地進捗率は約42%となっている。
- なお、香春町が地元協議の連絡調整を行うなど、地元自治体等からの支援も頂いており、今後の円滑な事業執行が可能である。
- よって、当該事業の完成に向けて、事業を継続することとしたい。

卷 末 資 料

様式 1 客観的評価指標による事業採択の前提条件、事業の効果や必要性の確認の状況

事業名	国道201号 香春拡張
事業主体	九州地方整備局

●事業採択の前提条件を確認するための指標

前提条件	事業の効率性	指標	指標チェックの根拠
		■ 便益が費用を上回っている	全事業：費用便益比（B／C）≒1.3（経済的純現在価値（B－C）≒17億円、経済的内部収益率（E I R R）≒5.6%） 残事業：費用便益比（B／C）≒1.6（経済的純現在価値（B－C）≒25億円、経済的内部収益率（E I R R）≒7.1%）

●事業の効果や必要性を評価するための指標

政策目標		指標（対象となる指標のみ記載。効果が確認されるものは□を■に変更）	指標チェックの根拠
1. 活力 円滑なモビリティの確保	物流効率化の支援	● 現道等の年間渋滞損失時間及び削減率	区間b（当該区間／並行区間）について：国道201号（香春町大字鏡山字カラ川～香春町大字鏡山字荒瀬） 当該区間等の渋滞損失時間：9.7万人・時間/年 当該区間等の渋滞損失削減率：約3割削減
		□ 現道等における遅延時旅行速度が20km/h未満である区間の旅行速度の改善が期待される	
		□ 現道又は並行区間等における路切交通遮断量が10,000台時/日以上の路切道の除却もしくは交通改善が期待される	
		□ 現道等に、当該路線の整備により利便性の向上が期待できるバス路線が存在する	
		□ 新幹線駅もしくは特急停車駅へのアクセス向上が見込まれる	
		□ 第一種空港、第二種空港、第三種空港もしくは共用飛行場へのアクセス向上が見込まれる	
		■ 重要港湾もしくは特定重要港湾へのアクセス向上が見込まれる	香春町→苅田港（重要港湾） [全事業・残事業]約1分短縮〔整備前約40分→整備後約39分〕：国道201号香春拡張
		□ 農林水産業を主体とする地域において農林水産品の流通の利便性が向上	
		□ 現道等における、総重量25tの車両もしくはIS0規格背高海上コンテナ輸送車が通行できない区間を解消する	
		□ 都市再生プロジェクトを支援する事業である	
1. 活力 都市の再生		□ 広域道路整備基本計画に位置づけのある環状道路を形成する	
		□ 市街地再開発、区画整理等の沿道まちづくりとの連携あり	
		□ 中心市街地内で行う事業である	
		□ 幹線都市計画道路網密度が1.5km/km ² 以下である市街地内での事業である	
		□ DID区域内の都市計画道路整備であり、市街地の都市計画道路網密度が向上する	
		□ 対象区間が現在連絡道路がない住宅地開発（300戸以上又は16ha以上、大都市においては100戸以上又は5ha以上）への連絡道路となる	

1. 活力	国土・地域ネットワークの構築	☐ 高速自動車国道と並行する自専道（A 路線）としての位置づけ有り	
		☐ 地域高規格道路の位置づけあり	
		☐ 当該路線が新たに拠点都市間を高規格幹線道路で連絡するルートを構成する	
		☐ 当該路線が隣接した日常活動圏中心都市間で最短時間で連絡する路線を構成する	
		☐ 現道等における交通不能区間を解消する	
		☐ 現道等における大型車のすれ違い困難区間を解消する	
		☐ 日常活動圏の中心都市へのアクセス向上が見込まれる	
		☐ 鉄道や河川等により一体的発展が阻害されている地区を解消する	
		☒ 拠点開発プロジェクト、地域連携プロジェクト、大規模イベントを支援する	「九州北部自動車アジア先進拠点プロジェクト」と連携した自動車関連の産業振興を支援する。
		☐ 主要な観光地へのアクセス向上が期待される	
2. 暮らし	個性ある地域の形成	☐ 特別立法に基づく事業である	
		☐ 新規整備の公共公益施設へ直結する道路である	
		歴史的景観を活かした道路整備や中心商店街のシンボリック的な道路整備等、特色あるまちづくりに資する事業である	
		☐ 自転車交通量が500台/日以上、自動車交通量が1,000台/12h以上、歩行者交通量が500人/日以上全てに該当する区間において、自転車利用空間を整備することにより、当該区間の歩行者・自転車の通行の快適・安全性の向上が期待できる	
		☐ バリアフリー新法に基づく特定道路が新たにバリアフリー化される	
		☐ 対象区間で電線類地中化5ヶ年計画に位置づけ有り	
		☐ 市街地又は歴史景観地区（歴史的風土特別保存区域及び重要伝統的建造物保存地区）の幹線道路において新たに無電柱化を達成する	
		☐ 安全で安心できるくらしの確保	みやこ町役場⇒飯塚病院 [全事業・残事業] 約1分短縮 [整備前約40分⇒整備後約39分] : 国道201号番抜幅

3. 安全	安全な生活環境の確保	☐ 現道等に死傷事故率が500件/億台キロ以上である区間が存する場合において、交通量の減少、歩道の設置又は線形不良区間の解消等により、当該区間の安全性の向上が期待できる ☐ 当該区間の自動車交通量が1,000台/12h以上（当該区間が通学路である場合は500台/12h以上）かつ歩行者交通量100人/日以上（当該区間が通学路である場合は児童、園児が40人/日以上）の場合、又は歩行者交通量500人/日以上の場合において、歩道が無い又は狭小な区間に歩道が設置される	
	災害への備え	☐ 近隣市へのルートが1つしなく、災害による1～2箇所の道路寸断で孤立化する集落を解消する ☒ 対象区間が、都道府県地域防災計画、緊急輸送道路ネットワーク計画又は地震対策緊急整備事業計画に位置づけがある、又は地震防災緊急事業5ヶ年計画に位置づけのある路線（以下「緊急輸送道路」という）として位置づけあり	国道201号：緊急輸送道路ネットワーク計画（福岡県）において、第一次緊急輸送道路に位置付けられている。
		☐ 緊急輸送道路が通行止になった場合に大幅な迂回を強いられる区間の代替路線を形成する ☐ 並行する高速ネットワークの代替路線として機能する（A'路線としての位置づけがある場合） ☐ 現道等の防災点検又は震災点検要対策箇所もしくは架替の必要のある老朽橋梁における通行規制等が解消される	
		☐ 現道等の事前通行規制区間、特殊通行規制区間又は冬期交通障害区間を解消する ☐ 避難路へ1km以内で到達できる地区が新たに増加する ☐ 幅員6m以上の道路がないため消火活動が出来ない地区が解消する	
4. 環境	地球環境の保全	☐ 密集市街地における事業で火災時の延焼遮断帯の役割を果たす ☒ 対象道路の整備により削減される自動車からのCO ₂ 排出量	CO ₂ 排出削減量：939t-CO ₂ /年（全事業・残事業）
	生活環境の改善・保全	☒ 現道等における自動車からのNO ₂ 排出削減率 ☒ 現道等における自動車からのSPM排出削減率	評価対象区間（現道等）：国道201号（香春町大字鏡山字カラ川～香春町大字鏡山字荒堀） 排出削減量：4.3t-NOx/年、排出削減率：約2割削減（全事業・残事業） 評価対象区間（現道等）：国道201号（香春町大字鏡山字カラ川～香春町大字鏡山字荒堀） 排出削減量：0.25t-SPM/年、排出削減率：約2割削減（全事業・残事業）
		☐ 現道等で騒音レベルが夜間要請限度を超過している区間について、新たに要請限度を下回ることが期待される区間がある ☐ その他、環境や景観上の効果が期待される	
	5. その他	☐ 道路の整備に関するプログラム又は都市計画道路整備プログラムに位置づけられている ☒ 関連する大規模道路事業と一体的に整備する必要あり ☐ 他機関との連携プログラムに位置づけられている ☐ その他、対象地域や事業に固有の事情等、以上の項目に属さない効果が見込まれる	国道322号香春大任バイパス整備事業との連携

費用便益分析の結果

路線名	事業名	延長	事業種別	現拡・ＢＰ・その他の別
国道201号	香春拡幅	2.1km	二次改築	現 拡

計画交通量 (台/日)	車線数	事業主体
22,800～26,900	4	九州地方整備局

① 費 用

	事業費	維持管理費	合 計
基 準 年	平成26年度		
単純合計	48億円	17億円	65億円
うち残事業分	40億円	17億円	57億円
基準年における 現在価値（C）	43億円	5.6億円	48億円
うち残事業分	35億円	5.6億円	40億円

② 便 益

	走行時間 短縮便益	走行経費 減少便益	交通事故 減少便益	合 計
基 準 年	平成26年度			
供 用 年	平成34年度			
単年便益 (初年便益)	3.2億円	0.93億円	0.05億円	4.2億円
基準年における 現在価値（B）	50億円	15億円	0.85億円	65億円
うち残事業分	50億円	15億円	0.85億円	65億円

③ 結 果

費用便益比（事業全体）	1.3
経済的純現在価値（事業全体）	17 億円
経済的内部収益率（事業全体）	5.6 %
費用便益比（残事業）	1.6
経済的純現在価値（残事業）	25 億円
経済的内部収益率（残事業）	7.1 %

注）費用及び便益の合計は、表示桁数の関係で計算値と一致しないことがある。

④ 感 度 分 析

【事業全体】

変動要因	基準値	変動ケース	費用便益比（B／C）
交通量	22,800～26,900	±10%	1.1 ～ 1.6
事業費	48億円	±10%	1.2 ～ 1.4
事業期間	14年	±20%	1.2 ～ 1.3

【残事業】

変動要因	基準値	変動ケース	費用便益比（B／C）
交通量	22,800～26,900	±10%	1.4 ～ 1.9
事業費	40億円	±10%	1.5 ～ 1.8
事業期間	7年	±20%	1.6 ～ 1.6

交通状況の変化

様式－3①

事業名： 国道201号 香春拡幅

(推計時点 H42年) (事業全体、残事業)

			整備なし (A)	整備あり (B)	
①新設・改築道路 香春拡幅 ： 2.1km		交通量	[台/日]	23,000	24,400
		走行時間	[分]	4.0	2.5
		走行時間費用	[億円/年]	17	11
②主な周 辺道路	国道 201号 ： 18.3km	交通量	[台/日]	25,300	25,800
		走行時間	[分]	27	28
		走行時間費用	[億円/年]	127	131
	国道 322号 ： 13.2km	交通量	[台/日]	18,000	17,900
		走行時間	[分]	24	24
		走行時間費用	[億円/年]	77	76
	(主) 苅田 採銅所線 ： 6.7km	交通量	[台/日]	1,600	1,500
		走行時間	[分]	12	12
		走行時間費用	[億円/年]	3.4	3.3
③その他道路合計： 2,214.4km		走行時間費用	[億円/年]	5,832	5,832

			走行時間費用 整備なし (A)	走行時間費用 整備あり (B)	走行時間短縮便益 (A - B)
合計：2,254.7km	走行時間短縮便益	[億円/年]	6,056	6,053	3.2

事業名： 国道201号 香春拡幅



費用便益分析の条件

事業名：国道201号 香春拡幅

(2)

	項目	チェック欄			
	算出マニュアル 費用便益分析マニュアル (平成20年11月 国土交通省 道路局 都市・地域整備局)	☒			
	その他	☐			
	分析の基本的事項 分析対象期間	50年間			
	社会的割引率	4%			
	基準年次	平成26年			
交 通 流 推 計	交通流の 推計時点	1時点のみ推計	☒ (H42)		
		複数時点での推計	☐ ()		
	推計の状況	整備の有無それぞれで交通流を推計		☒	
		整備の有無のいずれかのみ推計		☐ 有 ☐ 無	
		いずれかのみの 推計の場合	いずれかのみの推計とした理由を記載		
	推計に用いた OD表	道路交通センサスをベースとした自動車OD表 (三段階推定法)		☒ (H17センサス)	
		パーソントリップ調査をベースとした自動車OD表 (四段階推定法)		☐	
		その他()		☐	
	開発交通量の 考慮	無		☒	
		有		☐	
		有の場合のみ	考慮した開発交通量(トリップ数) 考慮した理由を記載		() 台トリップ/日
	配分交通量の 推計手法	Q－V式を用いた配分		☐	
		転換率式を用いた配分		☐	
		Q－V式と転換率式の併用による配分		☒	
		均衡配分(リンクパフォーマンス関数を用いた配分)		☐	
		簡易手法		☐	
		簡易手法の 採択理由	小規模事業である		☐
			山間部海岸部で併行道路が少ない		☐
			その他()		
		簡易手法の考え方(将来交通量の設定方法等)			
	その他()		☐		
	速度設定の 考え方	各回の配分終了時の速度を交通量でウェイト付け して設定		☒	
		採用理由を記載 交通量が、交通容量(Qmax～Qmin)以上の路線、交通容量程度の路線などが混在した配 分結果となっているため、費用便益算出においては、速度差の生じる「加重平均速度」を 用いた。			
		最終配分の速度		☐	
		採用理由を記載			
	その他()		☐		

事業名：国道201号 香春拡幅

(3)

	項目		チェック欄	
	休日交通の影響	考慮しない	■	
		考慮する	□	
		考慮する場合のみ	面的に考慮	□
			対象路線のみ考慮	□
			採用した休日系数 休日系数を考慮した理由および採用した休日系数の考え方を記載	() %
災害等による通行止めの影響	考慮しない	■		
	考慮する	□		
	考慮する場合のみ	採用した通行止め日数 採用した通行止め日数の考え方を記載	() 日	
		とり止め交通を考慮する	□	
		とり止め交通を考慮しない場合はその理由、考慮した場合はその考え方を記載		
冬期交通の影響	考慮しない	■		
	考慮する	□		
	考慮する場合のみ	採用した冬期日数 採用した冬期日数の考え方を記載	() 日	
		冬の走行速度と交通容量の関係 設定の考え方を記載		
交通流推計の時点以外の便益の算定	ブロック別・車種別走行台キロの伸び率による設定	■		
	その他 ()	□		
車種別時間価値原単位	費用便益分析マニュアルの値を使用	■		
	独自に設定した値を使用	□		
車種別走行経費原単位	費用便益分析マニュアルの値を使用	■		
	独自に設定した値を使用	□		
交通事故減少便益算定	中央分離帯の有無を考慮	■		
	中央分離帯の有無を考慮しない	□		
走行時間短縮・走行経費減少・交通事故減少以外の便益	考慮しない	■		
	考慮する	□		
その他				

事業名：国道201号 香春拡幅

(4)

項目		チェック欄	
費用 の 算 定	事業費	詳細事業計画による値を採用	☐
		標準投資パターンを採用	☐
		その他(概略事業計画による値を採用)	☒
	維持管理費	維持管理費の設定根拠を記載	
		当該道路周辺地域における直轄国道の維持管理等に要する実績経費(過去3年間:H23~H25)に基づく	
雪寒費	積雪地域または寒冷地域である	☐	
その他			

費用の現在価値算定表

箇所名：国道201号 香春拡幅(事業全体)				維持管理費の単純単価の算出(消費税相当額含む)			
				単価(億円)		延長(km)	単純単価(億円)
				0.18		2.1	0.37
年次	年度	割戻率	GDP デフレーター	事業費(億円)		維持管理費(億円)	
				単純単価	現在価値	単純単価	現在価値
-14年目	H 20	1.2653	96.8	0.45	0.54		
-13年目	H 21	1.2167	95.6	0.31	0.36		
-12年目	H 22	1.1699	93.7	0.29	0.33		
-11年目	H 23	1.1249	92.1	0.29	0.32		
-10年目	H 24	1.0816	91.3	4.23	4.57		
-9年目	H 25	1.0400	91.3	1.20	1.25		
-8年目	H 26	1.0000	91.3	1.22	1.22		
-7年目	H 27	0.9615	91.3	8.09	7.78		
-6年目	H 28	0.9246	91.3	6.87	6.35		
-5年目	H 29	0.8890	91.3	6.20	5.52		
-4年目	H 30	0.8548	91.3	3.85	3.29		
-3年目	H 31	0.8219	91.3	4.77	3.92		
-2年目	H 32	0.7903	91.3	5.42	4.28		
-1年目	H 33	0.7599	91.3	4.81	3.66		
供用開始年次	H 34	0.7307	91.3			0.34	0.25
1年目	H 35	0.7026	91.3			0.34	0.24
2年目	H 36	0.6756	91.3			0.34	0.23
3年目	H 37	0.6496	91.3			0.34	0.22
4年目	H 38	0.6246	91.3			0.34	0.21
5年目	H 39	0.6006	91.3			0.34	0.20
6年目	H 40	0.5775	91.3			0.34	0.20
7年目	H 41	0.5553	91.3			0.34	0.19
8年目	H 42	0.5339	91.3			0.34	0.18
9年目	H 43	0.5134	91.3			0.34	0.18
10年目	H 44	0.4936	91.3			0.34	0.17
11年目	H 45	0.4746	91.3			0.34	0.16
12年目	H 46	0.4564	91.3			0.34	0.16
13年目	H 47	0.4388	91.3			0.34	0.15
14年目	H 48	0.4220	91.3			0.34	0.14
15年目	H 49	0.4057	91.3			0.34	0.14
16年目	H 50	0.3901	91.3			0.34	0.13
17年目	H 51	0.3751	91.3			0.34	0.13
18年目	H 52	0.3607	91.3			0.34	0.12
19年目	H 53	0.3468	91.3			0.34	0.12
20年目	H 54	0.3335	91.3			0.34	0.11
21年目	H 55	0.3207	91.3			0.34	0.11
22年目	H 56	0.3083	91.3			0.34	0.11
23年目	H 57	0.2965	91.3			0.34	0.10
24年目	H 58	0.2851	91.3			0.34	0.10
25年目	H 59	0.2741	91.3			0.34	0.09
26年目	H 60	0.2636	91.3			0.34	0.09
27年目	H 61	0.2534	91.3			0.34	0.09
28年目	H 62	0.2437	91.3			0.34	0.08
29年目	H 63	0.2343	91.3			0.34	0.08
30年目	H 64	0.2253	91.3			0.34	0.08
31年目	H 65	0.2166	91.3			0.34	0.07
32年目	H 66	0.2083	91.3			0.34	0.07
33年目	H 67	0.2003	91.3			0.34	0.07
34年目	H 68	0.1926	91.3			0.34	0.07
35年目	H 69	0.1852	91.3			0.34	0.06
36年目	H 70	0.1780	91.3			0.34	0.06
37年目	H 71	0.1712	91.3			0.34	0.06
38年目	H 72	0.1646	91.3			0.34	0.06
39年目	H 73	0.1583	91.3			0.34	0.05
40年目	H 74	0.1522	91.3			0.34	0.05
41年目	H 75	0.1463	91.3			0.34	0.05
42年目	H 76	0.1407	91.3			0.34	0.05
43年目	H 77	0.1353	91.3			0.34	0.05
44年目	H 78	0.1301	91.3			0.34	0.04
45年目	H 79	0.1251	91.3			0.34	0.04
46年目	H 80	0.1203	91.3			0.34	0.04
47年目	H 81	0.1157	91.3			0.34	0.04
48年目	H 82	0.1112	91.3			0.34	0.04
49年目	H 83	0.1069	91.3	-4.72	-0.50	0.34	0.04
合 計				43.28	42.89	17.06	5.57
単純事業費計				48.00		17.06	

注1) 事業費の投資パターンは、概略事業計画による値を採用したものであり、必ずしも全体の予算制約等を踏まえたものではない。

このため、毎年度の予算の状況や、用地・工事の進捗により、実際の事業展開とは異なることがある。

注2) 評価対象期間最終年において、用地残存価値(割引後の用地費)を控除している。

費用の現在価値算定表

箇所名：国道201号 香春拡幅(残事業)

維持管理費の単純単価の算出(消費税相当額含む)

年次	年度	割戻率	GDP デフレータ	事業費(億円)		維持管理費(億円)	
				単純価値	現在価値	単純価値	現在価値
						単価(億円)	延長(km)
						0.18	2.1
						0.37	
-7年目	H 27	0.9615	91.3	8.09	7.78		
-6年目	H 28	0.9246	91.3	6.87	6.35		
-5年目	H 29	0.8890	91.3	6.20	5.52		
-4年目	H 30	0.8548	91.3	3.85	3.29		
-3年目	H 31	0.8219	91.3	4.77	3.92		
-2年目	H 32	0.7903	91.3	5.42	4.28		
-1年目	H 33	0.7599	91.3	4.81	3.66		
供用開始年次	H 34	0.7307	91.3			0.34	0.25
1年目	H 35	0.7026	91.3			0.34	0.24
2年目	H 36	0.6756	91.3			0.34	0.23
3年目	H 37	0.6496	91.3			0.34	0.22
4年目	H 38	0.6246	91.3			0.34	0.21
5年目	H 39	0.6006	91.3			0.34	0.20
6年目	H 40	0.5775	91.3			0.34	0.20
7年目	H 41	0.5553	91.3			0.34	0.19
8年目	H 42	0.5339	91.3			0.34	0.18
9年目	H 43	0.5134	91.3			0.34	0.18
10年目	H 44	0.4936	91.3			0.34	0.17
11年目	H 45	0.4746	91.3			0.34	0.16
12年目	H 46	0.4564	91.3			0.34	0.16
13年目	H 47	0.4388	91.3			0.34	0.15
14年目	H 48	0.4220	91.3			0.34	0.14
15年目	H 49	0.4057	91.3			0.34	0.14
16年目	H 50	0.3901	91.3			0.34	0.13
17年目	H 51	0.3751	91.3			0.34	0.13
18年目	H 52	0.3607	91.3			0.34	0.12
19年目	H 53	0.3468	91.3			0.34	0.12
20年目	H 54	0.3335	91.3			0.34	0.11
21年目	H 55	0.3207	91.3			0.34	0.11
22年目	H 56	0.3083	91.3			0.34	0.11
23年目	H 57	0.2965	91.3			0.34	0.10
24年目	H 58	0.2851	91.3			0.34	0.10
25年目	H 59	0.2741	91.3			0.34	0.09
26年目	H 60	0.2636	91.3			0.34	0.09
27年目	H 61	0.2534	91.3			0.34	0.09
28年目	H 62	0.2437	91.3			0.34	0.08
29年目	H 63	0.2343	91.3			0.34	0.08
30年目	H 64	0.2253	91.3			0.34	0.08
31年目	H 65	0.2166	91.3			0.34	0.07
32年目	H 66	0.2083	91.3			0.34	0.07
33年目	H 67	0.2003	91.3			0.34	0.07
34年目	H 68	0.1926	91.3			0.34	0.07
35年目	H 69	0.1852	91.3			0.34	0.06
36年目	H 70	0.1780	91.3			0.34	0.06
37年目	H 71	0.1712	91.3			0.34	0.06
38年目	H 72	0.1646	91.3			0.34	0.06
39年目	H 73	0.1583	91.3			0.34	0.05
40年目	H 74	0.1522	91.3			0.34	0.05
41年目	H 75	0.1463	91.3			0.34	0.05
42年目	H 76	0.1407	91.3			0.34	0.05
43年目	H 77	0.1353	91.3			0.34	0.05
44年目	H 78	0.1301	91.3			0.34	0.04
45年目	H 79	0.1251	91.3			0.34	0.04
46年目	H 80	0.1203	91.3			0.34	0.04
47年目	H 81	0.1157	91.3			0.34	0.04
48年目	H 82	0.1112	91.3			0.34	0.04
49年目	H 83	0.1069	91.3	-1.33	-0.14	0.34	0.04
				38.69	34.66	17.06	5.57
				40.02		17.06	

注1) 事業費の投資パターンは、概略事業計画による値を採用したものであり、必ずしも全体の予算

制約等を踏まえたものではない。

このため、毎年度の予算の状況や、用地・工事の進捗により、実際の事業展開とは異なることがある。

注2) 評価対象期間最終年において、用地残存価値(割引後の用地費)を控除している。

便益の現在価値算定表

箇所名：国道201号 香春拡幅(事業全体、残事業)

様式-5

年度 (基準年)	年次	総走行台数の年次別伸び率 (北九州ブロック)					GDP デフレーター	割引率 (A)	走行時間短縮便益(億円)					走行経費減少便益(億円)					事故減少便益(億円)		合 計 (億円)	
		乗用車	小型貨物	普通貨物	全 車				乗用車	小型貨物	普通貨物	① 計	現在価値 ①×(A)	乗用車	小型貨物	普通貨物	② 計	現在価値 (A)×②	③	現在価値 ③×(A)		便益合計 (①~③)
供用開始年次 1年目 2年目 3年目 4年目 5年目 6年目 7年目 8年目 9年目 10年目 11年目 12年目 13年目 14年目 15年目 16年目 17年目 18年目 19年目 20年目 21年目 22年目 23年目 24年目 25年目 26年目 27年目 28年目 29年目 30年目 31年目 32年目 33年目 34年目 35年目 36年目 37年目 38年目 39年目 40年目 41年目 42年目 43年目 44年目 45年目 46年目 47年目 48年目 49年目	H 26	34	1.04172	0.98882	0.98882	1.02240	91.3	0.7307	1.72	0.39	1.06	3.17	2.32	0.72	0.10	0.11	0.93	0.68	0.05	0.04	4.15	3.04
	H 35	36	1.02381	0.99233	0.99233	1.01269	91.3	0.7026	1.72	0.39	1.06	3.17	2.23	0.72	0.10	0.11	0.93	0.65	0.05	0.04	4.15	2.92
	H 36	36	1.02326	0.99227	0.99227	1.01253	91.3	0.7026	1.72	0.39	1.06	3.17	2.23	0.72	0.10	0.11	0.93	0.65	0.05	0.04	4.15	2.92
	H 37	37	1.02273	0.99221	0.99221	1.01238	91.3	0.6496	1.72	0.39	1.06	3.17	2.06	0.72	0.10	0.11	0.93	0.60	0.05	0.03	4.15	2.69
	H 38	38	1.02223	0.99215	0.99215	1.01223	91.3	0.6246	1.72	0.39	1.06	3.17	1.98	0.72	0.10	0.11	0.93	0.58	0.05	0.03	4.15	2.59
	H 39	39	1.02174	0.99209	0.99209	1.01208	91.3	0.6006	1.72	0.39	1.06	3.17	1.90	0.72	0.10	0.11	0.93	0.56	0.05	0.03	4.15	2.49
	H 40	40	1.02128	0.99202	0.99202	1.01193	91.3	0.5775	1.72	0.39	1.06	3.17	1.83	0.72	0.10	0.11	0.93	0.54	0.05	0.03	4.15	2.40
	H 41	41	0.99808	0.99097	0.99921	0.99700	91.3	0.5553	1.72	0.39	1.06	3.17	1.76	0.72	0.10	0.11	0.93	0.52	0.05	0.03	4.15	2.31
	H 42	42	0.99338	0.99360	1.00074	0.99360	91.3	0.5339	1.78	0.31	1.07	3.16	1.69	0.72	0.06	0.14	0.92	0.49	0.05	0.03	4.13	2.21
	H 43	43	0.99333	0.99356	1.00074	0.99416	91.3	0.5134	1.77	0.31	1.07	3.15	1.62	0.72	0.06	0.14	0.92	0.47	0.05	0.03	4.12	2.12
	H 44	44	0.99329	0.99352	1.00074	0.99412	91.3	0.4936	1.76	0.31	1.07	3.14	1.55	0.72	0.06	0.14	0.92	0.45	0.05	0.02	4.11	2.02
	H 45	45	0.99324	0.99348	1.00074	0.99409	91.3	0.4746	1.75	0.31	1.07	3.13	1.49	0.72	0.06	0.14	0.92	0.44	0.05	0.02	4.10	1.95
	H 46	46	0.99320	0.99343	1.00074	0.99406	91.3	0.4564	1.74	0.31	1.07	3.12	1.42	0.72	0.06	0.14	0.92	0.42	0.05	0.02	4.09	1.86
	H 47	47	0.99315	0.99339	1.00074	0.99402	91.3	0.4388	1.73	0.31	1.07	3.11	1.36	0.72	0.06	0.14	0.92	0.40	0.05	0.02	4.08	1.78
	H 48	48	0.99310	0.99335	1.00074	0.99398	91.3	0.4220	1.72	0.31	1.07	3.10	1.31	0.72	0.06	0.14	0.92	0.39	0.05	0.02	4.07	1.72
	H 49	49	0.99305	0.99330	1.00074	0.99395	91.3	0.4057	1.71	0.31	1.07	3.09	1.25	0.72	0.06	0.14	0.92	0.37	0.05	0.02	4.06	1.64
	H 50	50	0.99301	0.99326	1.00074	0.99391	91.3	0.3901	1.70	0.31	1.07	3.08	1.20	0.71	0.06	0.14	0.91	0.36	0.05	0.02	4.04	1.58
	H 51	51	0.99296	0.99321	1.00074	0.99387	91.3	0.3751	1.69	0.31	1.07	3.07	1.15	0.71	0.06	0.14	0.91	0.34	0.05	0.02	4.03	1.51
	H 52	52	0.99291	0.99316	1.00074	0.99384	91.3	0.3607	1.68	0.31	1.07	3.06	1.10	0.71	0.06	0.14	0.91	0.33	0.05	0.02	4.02	1.45
	H 53	53	0.99286	0.99312	1.00074	0.99380	91.3	0.3468	1.67	0.31	1.07	3.05	1.06	0.70	0.06	0.14	0.90	0.31	0.05	0.02	4.00	1.39
	H 54	54	0.99280	0.99307	1.00074	0.99376	91.3	0.3335	1.66	0.31	1.07	3.04	1.01	0.70	0.06	0.14	0.90	0.30	0.05	0.02	3.99	1.33
	H 55	55	0.99275	0.99302	1.00074	0.99372	91.3	0.3207	1.65	0.31	1.07	3.03	0.97	0.69	0.06	0.14	0.89	0.29	0.05	0.02	3.97	1.28
	H 56	56	0.99270	0.99297	1.00074	0.99368	91.3	0.3083	1.64	0.31	1.07	3.02	0.93	0.68	0.06	0.14	0.88	0.27	0.05	0.02	3.95	1.22
	H 57	57	0.99265	0.99292	1.00074	0.99364	91.3	0.2965	1.63	0.31	1.07	3.01	0.89	0.68	0.06	0.14	0.88	0.26	0.05	0.01	3.94	1.16
	H 58	58	0.99259	0.99287	1.00073	0.99360	91.3	0.2851	1.62	0.31	1.07	3.00	0.86	0.68	0.06	0.14	0.88	0.25	0.05	0.01	3.93	1.12
	H 59	59	0.99254	0.99282	1.00073	0.99356	91.3	0.2741	1.61	0.31	1.07	2.99	0.82	0.67	0.06	0.14	0.87	0.24	0.05	0.01	3.91	1.07
	H 60	60	0.99248	0.99277	1.00073	0.99352	91.3	0.2636	1.60	0.31	1.07	2.98	0.79	0.67	0.06	0.14	0.87	0.23	0.05	0.01	3.90	1.03
	H 61	61	0.99242	0.99272	1.00073	0.99347	91.3	0.2534	1.59	0.31	1.07	2.97	0.75	0.66	0.06	0.14	0.86	0.22	0.05	0.01	3.88	0.98
	H 62	62	0.99236	0.99266	1.00073	0.99343	91.3	0.2437	1.58	0.31	1.07	2.96	0.72	0.65	0.06	0.14	0.85	0.21	0.05	0.01	3.86	0.94
	H 63	63	0.99231	0.99261	1.00073	0.99339	91.3	0.2343	1.57	0.31	1.07	2.95	0.69	0.65	0.06	0.14	0.85	0.20	0.05	0.01	3.85	0.90
	H 64	64	0.99225	0.99255	1.00073	0.99334	91.3	0.2253	1.56	0.31	1.07	2.94	0.66	0.65	0.06	0.14	0.85	0.19	0.05	0.01	3.84	0.86
	H 65	65	0.99219	0.99250	1.00073	0.99330	91.3	0.2166	1.55	0.31	1.07	2.93	0.63	0.64	0.06	0.14	0.84	0.18	0.05	0.01	3.82	0.82
	H 66	66	0.99212	0.99244	1.00073	0.99325	91.3	0.2083	1.54	0.31	1.07	2.92	0.61	0.64	0.06	0.14	0.84	0.17	0.05	0.01	3.81	0.79
	H 67	67	0.99206	0.99238	1.00073	0.99321	91.3	0.2003	1.53	0.31	1.07	2.91	0.58	0.63	0.06	0.14	0.83	0.17	0.05	0.01	3.79	0.76
	H 68	68	0.99200	0.99232	1.00073	0.99316	91.3	0.1926	1.52	0.31	1.07	2.90	0.56	0.62	0.06	0.14	0.82	0.16	0.05	0.01	3.77	0.73
	H 69	69	0.99193	0.99227	1.00073	0.99312	91.3	0.1852	1.51	0.31	1.07	2.89	0.54	0.62	0.06	0.14	0.82	0.15	0.05	0.01	3.76	0.70
	H 70	70	0.99187	0.99220	1.00073	0.99307	91.3	0.1780	1.50	0.31	1.07	2.88	0.51	0.61	0.06	0.14	0.81	0.14	0.05	0.01	3.74	0.66
	H 71	71	0.99180	0.99214	1.00073	0.99302	91.3	0.1712	1.49	0.31	1.07	2.87	0.49	0.61	0.06	0.14	0.81	0.14	0.05	0.01	3.73	0.64
	H 72	72	0.99173	0.99208	1.00073	0.99297	91.3	0.1646	1.48	0.31	1.07	2.86	0.47	0.60	0.06	0.14	0.80	0.13	0.05	0.01	3.71	0.61
	H 73	73	0.99166	0.99202	1.00073	0.99292	91.3	0.1583	1.47	0.31	1.07	2.85	0.45	0.60	0.06	0.14	0.80	0.13	0.05	0.01	3.70	0.59
	H 74	74	0.99159	0.99195	1.00073	0.99287	91.3	0.1522	1.46	0.31	1.07	2.84	0.43	0.59	0.06	0.14	0.79	0.12	0.05	0.01	3.68	0.56
	H 75	75	0.99152	0.99189	1.00073	0.99282	91.3	0.1463	1.45	0.31	1.07	2.83	0.41	0.59	0.06	0.14	0.79	0.12	0.05	0.01	3.67	0.54
	H 76	76	0.99145	0.99182	1.00073	0.99277	91.3	0.1407	1.44	0.31	1.07	2.82	0.40	0.58	0.06	0.14	0.78	0.11	0.05	0.01	3.65	0.52
	H 77	77	0.99138	0.99175	1.00072	0.99271	91.3	0.1353	1.43	0.31	1.07	2.81	0.38	0.58	0.06	0.14	0.78	0.11	0.05	0.01	3.64	0.50
	H 78	78	0.99130	0.99169	1.00072	0.99266	91.3	0.1301	1.42	0.31	1.07	2.80	0.36	0.58	0.06	0.14	0.78	0.10	0.05	0.01	3.63	0.47
	H 79	79	0.99123	0.99162	1.00072	0.99261	91.3	0.1251	1.41	0.31	1.07	2.79	0.35	0.57	0.06	0.14	0.77	0.10	0.05	0.01	3.61	0.46
	H 80	80	0.99115	0.99155	1.00072	0.99255	91.3	0.1203														

全体事業費内訳

路線名	箇所名	車線数	延長
国道201号	香春拡幅	4	2.1km

■事業費内訳

区分	費目	工種	単位	数量	金額 (百万円)	備考
①工事費					3,284	
	改良費				1,142	
		土工	m ³	75,200	99	切土(25,100m ³)、盛土(50,100m ³)
		軟弱地盤改良工	m ³			
		法面工	m ²	1,810	4	種子吹付、種子散布
		擁壁工	式	1	513	ブロック積、補強土壁、大型ブロック積、L型擁壁
		管渠工	m	200	6	
		函渠工	m	107	14	
		排水工	m	7,960	143	
		中央分離帯工	m	1,813	31	
		雑工	式	1	332	付替道路、構造物撤去
	橋梁費				1,775	
		100m以上	m			
		100m未満	m	160	1,775	PC橋1橋、鋼橋3橋
	トンネル費					
		NATM	m			
		シールド	m			
	IC・JCT費					
		IC	箇所			
		JCT	箇所			
	舗装費				347	
		車道舗装	m ²	38,000	312	
		歩道舗装	m ²	10,600	35	
	付帯施設費				20	
		交通管理施設工	式	1	20	防護柵工
		遮音壁	m			
②用地及補償費					1,029	
	用地費	m ²	36,732	472		
		宅地	m ²	11,123	216	
		田畑	m ²	22,981	238	
		山林・原野	m ²	812	13	
		その他	m ²	1,816	5	
	補償費	式	1	557		
③間接経費		式	1	822	地質調査、測量、設計にかかる費用及び予備費等	
全体事業費				5,135		

【単価等について】

○工事費算出にあたっては、土木工事標準歩掛及び近接事業箇所の実績単価を使用

○用地補償費算出にあたっては、近接事業箇所の直近実績単価を使用

残事業費内訳

路線名	箇所名	車線数	延長
国道201号	香春拡幅	4	2.1km

■事業費内訳

区分	費目	工種	単位	数量	金額 (百万円)	備考
①工事費					3,254	
	改良費				1,112	
		土工	m ³	75,200	99	切土(25,100m ³)、盛土(50,100m ³)
		軟弱地盤改良工	m ³			
		法面工	m ²	1,810	4	種子吹付、種子散布
		擁壁工	式	1	503	ブロック積、補強土壁、大型ブロック積、L型擁壁
		管渠工	m	200	6	
		函渠工	m	107	14	
		排水工	m	7,960	143	
		中央分離帯工	m	1,813	31	
		雑工	式	1	312	付替道路、構造物撤去
	橋梁費				1,775	
		100m以上	m			
		100m未満	m	160	1,775	PC橋1橋、鋼橋3橋
	トンネル費					
		NATM	m			
		シールド	m			
	IC・JCT費					
		IC	箇所			
		JCT	箇所			
	舗装費				347	
		車道舗装	m ²	38,000	312	
		歩道舗装	m ²	10,600	35	
	付帯施設費				20	
		交通管理施設工	式	1	20	防護柵工
		遮音壁	m			
②用地及補償費					591	
	用地費			m ²	19,347	133
		宅地	m ²	6,622	51	
		田畑	m ²	10,553	68	
		山林・原野	m ²	692	10	
		その他	m ²	1,480	4	
	補償費	式	1		458	
③間接経費			式	1	466	地質調査、測量、設計にかかる費用及び予備費等
全体事業費					4,311	

【単価等について】

○工事費算出にあたっては、土木工事標準歩掛及び近接事業箇所の実績単価を使用

○用地補償費算出にあたっては、近接事業箇所の直近実績単価を使用

全事業における維持管理費の内訳

路線名	箇所名	車線数	延長
国道201号	香春拡幅	4	2.1km

■維持管理費内訳

区分	単位	数量	金額 (百万円)	備考
維持費	km	2.1	404	巡回、清掃、除草、除雪等
修繕費	式	1	1,438	路面補修、構造物の点検・補修等
維持管理費合計			1,842	

【単価等について】

○維持管理費は、当該道路周辺地域における直轄国道の維持管理等に要する実績経費に基づき算出。

残事業における維持管理費の内訳

路線名	箇所名	車線数	延長
国道201号	香春拡幅	4	2.1km

■維持管理費内訳

区分	単位	数量	金額 (百万円)	備考
維持費	km	2.1	404	巡回、清掃、除草、除雪等
修繕費	式	1	1,438	路面補修、構造物の点検・補修等
維持管理費合計			1,842	

【単価等について】

○維持管理費は、当該道路周辺地域における直轄国道の維持管理等に要する実績経費に基づき算出。